

〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

4月10日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

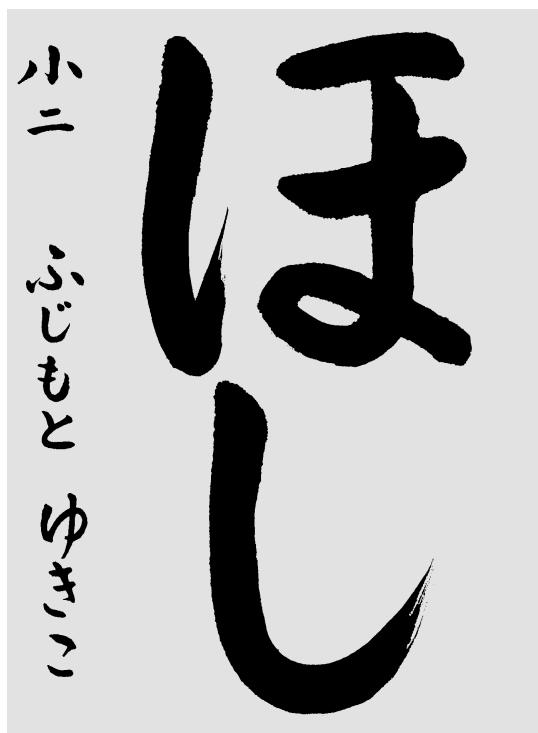


一谷春窓先生

幼・小学1年参考手本



島田白露先生



太田蓮紅先生

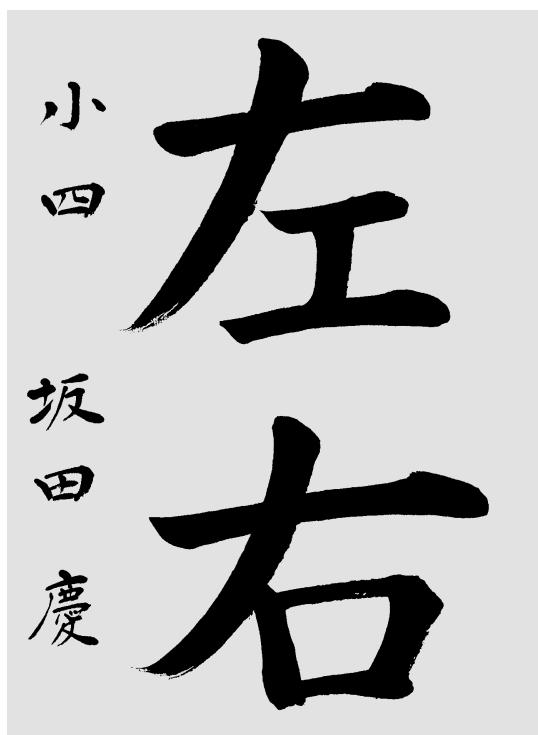


弓削光峰先生

〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

4月10日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学4年参考手本



大野祥雲先生

小学3年参考手本



種谷萬城先生



村山元信先生



板垣洞仙先生

〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

4月10日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学6年参考手本



廣瀬舟雲先生

小学5年参考手本



辻元大雲先生



恒次鶴城先生



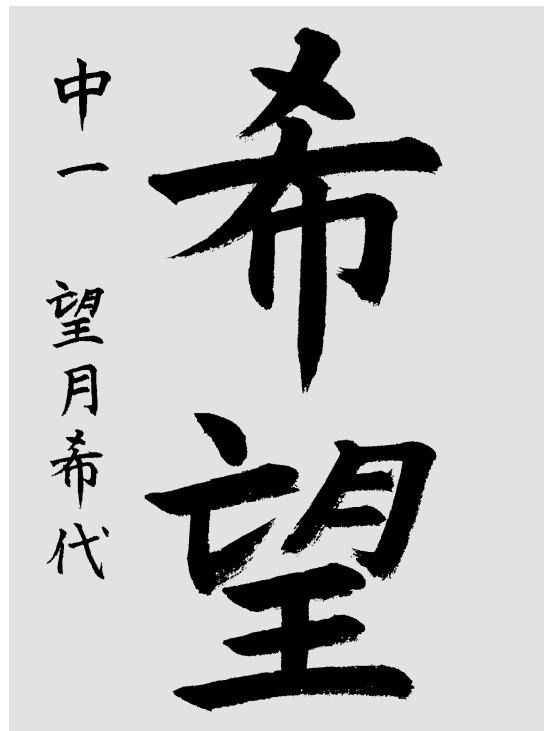
小伏小扇先生

〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
4月10日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

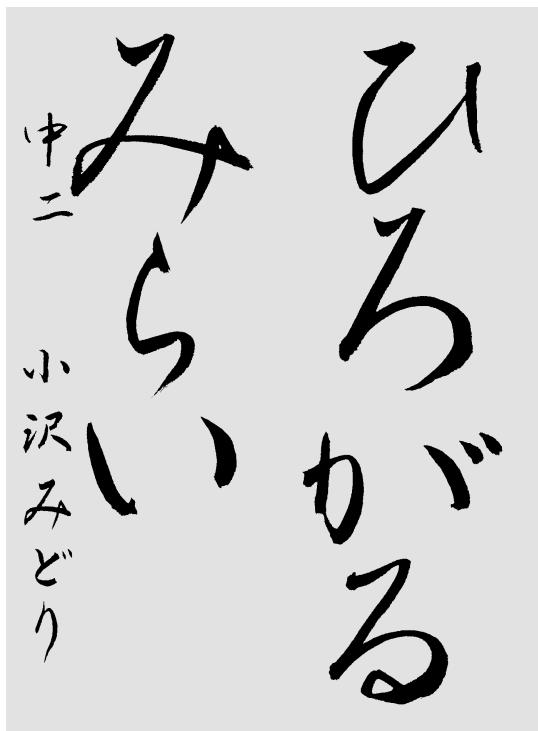
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



恩地春洋先生



飯高和子先生



石井明子先生



西林乗宣先生

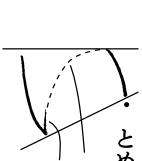
硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

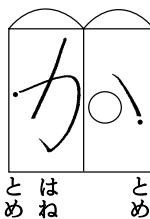
[4月10日締切課題]

幼・小 学 1 年

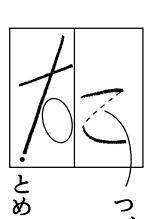
支部名				
だん・きゅう	し	た	こ	か
がくねん	ろ	か	い	か
一	い	し	や	か
なまえ	く	や	ま	ま
もりわかな	も			



とめ
つづけるきもちでかく
ちいさくはねる



とめ
はね



とめ
とめ

『くも』

とめ、はねをよくみてていねいにかましましょう。

- ◎各学年に「学習のめあて」をつけました。
「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。
- ◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。
- ◎学年は漢数字(一、二、三)……、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、三、四)と記入。

- ◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。
- ◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。
- ◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。
- ◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

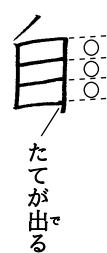
〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学3年

小学2年

支部名			
段・級			
学年			
三			
名前	千葉 美南	自分に合つたよう	ふくを買います。

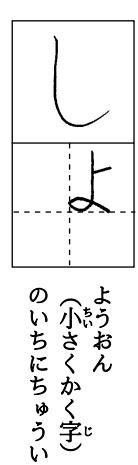
支部名			
段・級			
学年			
二			見えくやもとや
名前	うえくやもとや	見えくやもとや	しょくばくんれん



『ようふく』
漢字の外形をみてととのえて書きましょう。



『よしき』
すこし、ふくらませて
くみあわせ。
人→儿



『じょうおん』
のいちにちゅうい
よしき
(小さくかく字)

『じょうおん』
書きましたよ。

〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学5年

小学4年

支部名			
段・級			
学年			
五	夕 一 に 書 き 写 し ま す 。	絵 や 図 を 入 れ て 、 ポ ス 。	調 べ て き た こ と を 、 、
名前	加藤亜衣莉		

中心
写

図



『ボスター』
筆順にしたがって、正しく整えて書きましょう。

「（わかんむり）
一画で書く
（筆順）
二画 写写
（筆順）
三画 図図図
（筆順）
四画 写
（筆順）
五画 写
（筆順）

支部名			
段・級			
学年			
四	て い き ま し た 。	う と す る 人 を 、 指 名 し	手 を あ げ て 発 言 し よ
名前	伊藤海利		

中心
指

発

発

『指名』
筆順に気をつけて、字形をととのえましょう。

「ヒ」と「田」の組み立てに注意しましょう。
はらいをまげすぎない

「ヒ」と「田」の組み立てに注意しましょう。
はねる
（筆順）
一 一 オ オ 指 指
フ マ フ ハ ベ ベ 発

〔4月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

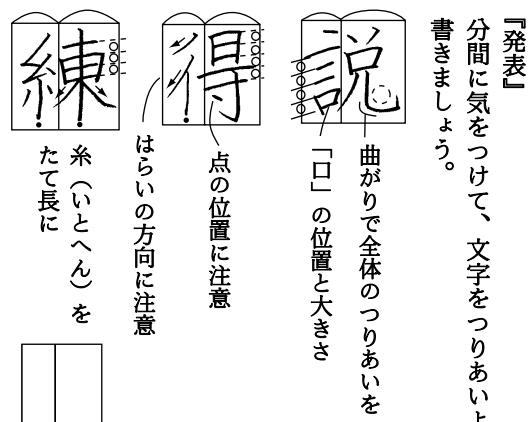
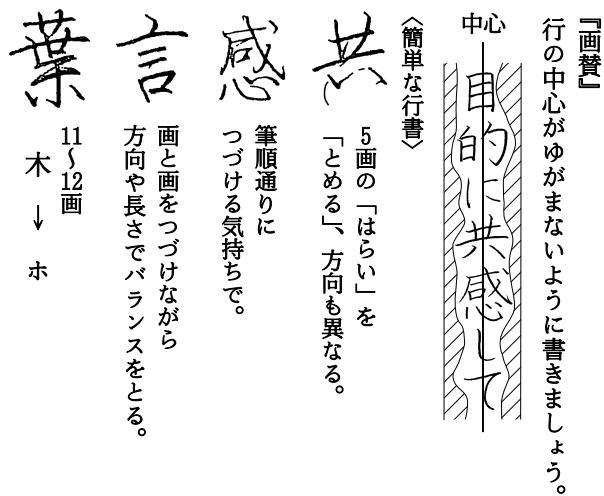
中 学 生

小 学 6 年

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	越谷 孝太

東洋の絵の特徴であるが、絵の目的に共感して言葉を添えたもの
がいわゆる画贊である。

支部名	習をして準備をします。
段・級	
学年	
六	
名前	佐藤 将貴



筆順を学ぼう

㊱

3年	王	オウ	一 丿 卍 王
	左	サ ひだり	一 ナ 夂 左 左
4年	右	ウ ユウ みぎ	ノ ナ 夂 右 右
	歩	ホ ブ フ ある・く あゆ・む	丨 ト ハ 止 牛 𠂇 步
5年	材	ザイ	木 杵 村 材
	有	ユウ ユ あ・る	ノ ナ 有 有
6年	建	ケン コン た・てる た・つ	フ ノ ノ 三 聿 建
	起	キ お・きる お・こる お・こす	土 キ キ 走 走 起 起
	希	キ	ノ メ ヲ ヲ 希 希
中学	望	ボウ モウ のぞ・む	土 亡 亡 刃 𠂇 望 望
	発	ハツ ホツ	タ タ フ フ 登 發
	策	サク	ム ム 箕 箕 策

行書を字ほう (164)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」



ひらがなの字源 (164)

* 源字については、異字体から変遷したものに *印を付して()にその字体を記した。
字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

い	ら	み	る	が	ろ	ひ		源字	字形
以	良	美	留	加	呂	比		い	ら

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

硬筆の部

小学2年

支部名		つ		
段・級		て	き	ま
学年		さ	ま	し
二		た	。	た
名前	ふくいだけひと	が	学	校
		に	入	

小学1年

支部名		え	ん	そ	く
だん・きゅう		が	、	お	で
がくねん					
一					
なまえ	まつうらはるき				

一、課題題

- くわしい規定は、「毛筆」と同じです。

用紙は、本連盟指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

- 課題（各学年用）文字は、参考手本通りに書く。
- 「空欄」「。」「、」も正しく書く。

小学4年

支部名		て	い	ま	す	。
段・級		こ	と	わ	ざ	や
学年		の	の	ん	ち	え
四		人	の	ち	え	が
名前	阿部花音	格	言	に	ま	つ
		に	は			

小学3年

支部名		朝	食	を	と	り	ま	し	た	。
だん・きゅう		今	日	は	、	ゆ	つ	く	り	
がくねん										
三										
名前	横山千夏									

- 清書には、「学年」「氏」「名」を受験生本人が書く。
- 幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
例「まつうら はるき」
- 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
- 受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

※5月号の購読部数を越える受験はできません。

支部名	
段・級	
学年	
中一	
名前	本道 日菜子

白い岩の上で、美しくゆらゆら
のびたり縮んだりしている。
波から来る光のあみが、底の

支部名	
段・級	
学年	六
名前	鎌田 耕大

が出ていました。
きと野菜いためのお皿
食べたくには、目玉焼
ました。

支部名	
段・級	
学年	五
名前	松竹美希

光つている銀河。
じ、星たちが重なり、
あの遠い空にひとす

春季昇級試験

硬筆の部

を受験される方へ

春季昇級試験で
硬筆の部を受験さ
れる方は、

本連盟指定の用紙
(月例と同じ用紙)
を使用するか、も

しくは指定の用紙
をコピーして、原
紙の大きさにあわ
せて切って出品し
てください。

用紙は、一冊30枚
つづり。送料を含
んだ金額は下記の
通りです。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用 ④ 中学生用

料金表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下(1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	240 円	4	610 円	7	990 円
2	400	5	790	8	1,090
3	510	6	890	9	1,240

10冊以上のご注文は、送料無料。

○代金は、硬筆用紙専用の「払込取扱票」で、用紙代(送料
含む) 前納でお申し込みください。
○発送については、都合により数日かかることもありますので、余裕をもってお申し込みください。
(電話の注文はお受けいたしません。)

硬筆用紙申し込みについてお願ひ

漢字に親しもう

(13)

四月号中学生の毛筆課題「希望」の『望』の字にスポットを当てて、成り立ちから「望む」と「臨む」の使い方の違いまで考えてみましょう。

望
おん 音
ボウ・モウ
訓
のぞむ



もとは **夕** (=日) と **人** (=人) がのびあがる。のちに **月** (=月) が加わり、**夕** がボウの音をあらわす **亡** (=亡) にかわった。
遠くの月をのび上がって見ることから、「遠くを見る」「のぞみをもつ」などのいみが出た。



「望む」と「臨む」

【**望む**】 そうなればと考える。遠くの方を見ること。

○世界の平和を中心から望む。

○彼の手術の成功を友達はみんな望んでいる。

○私は大学に進学することを望んでいる。

○遠くに湖を望む高台に家を建てる。

○山の上からはるかかなたの対岸を望む。

【**臨む**】 その場所に出る。すぐ近くにある。

○資料を十分に検討して会議に臨む。

○その選手は試合に臨んで非常に緊張していた。

○終わりに臨んで一言あいさつを申しあげたい。

○そのビルは国道に臨んで建っている。

用集余録

- 新年度になりました。この四月号からは、毛筆課題を全面リニューアルします。学校で習う書写を三ヶ月くらい先取りした内容にしました。お手本を書いていただき先生方も張り切っていますので、皆さん沢山練習して素晴らしい作品を多数お寄せください。その時に、名前の書き方に十分気を付けてください。名前の位置と大きさは大切です。
- 私が書の教室の編集に携わって一度一年が経ちました。ひらがなと漢字と格闘する毎日が続いている。ひらがなの書き方や漢字の成り立ちは新らしい発見が山のようにあります。結構楽しいものです。
- 春季昇級試験の規定を掲載しました。作品の締め切りは5月10日(火)です。時間はたっぷりありますので、今から準備しましょう。
- 三月号の編集余録で「三月号から新しい課題を」と書いてしまいましたが、正しくは四月号からの誤りです。お詫びして訂正致します。